

今井城学園通信

社会福祉法人 天使園
児童養護施設
今井城学園
青梅市今井 2-1207-8
発行日 2017年2月
第12号

園長あいさつ

小田川広明

少し遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願いいたします。12月23日に行われましたクリスマス会には、多くの方にご来園いただきありがとうございました。

さて、東京都社会福祉協議会の中に社会的養護に関する組織で児童部会があります。今回は、児童部会の活動の一つを紹介したいと思います。毎年、2月に高校を卒業する児童を対象に、マレーシアのペナン島に行き、障がい者の施設でのボランティアワーク、ホームステイ及び児童養護施設の訪問等を行っています。アジアの他国に行き、見聞を広めると共にその国の人たちと交流し、アジアの一員であることを自覚し改めて日本について考えてみることを目的にしています。また、ペナン島は、様々な宗教が混在しているのも理由の一つです。今年度も今井城学園の児童を含み11名が参加の予定です。

日本の児童福祉もまだまだ十分ではありませんが、アジアの中では別格でペナン島の児童養護施設では、個別の学習机などはなく一部屋に10台の二段ベッドがあるだけです。政府からの補助金も少なく、寄付金やボランティアに頼っているのが現状です。この体験を通してこれから社会に巣立っていく・進学する児童が、一つでも何かをつかんでくれることを期待します。



学園紹介シリーズ

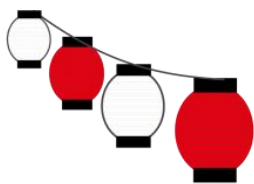
No.12

《学園行事☆地域交流会》

今井城学園では、毎年11月に『地域の方との交流を深める』をテーマに、地域の方や学校の先生、お友達を学園へ招いて「地域交流会」を開催しています。

地域交流会では沢山の模擬店が出店されます。今年は、クリスピーチキン・焼きそば・ベビーカステラ・豚汁・たこ焼き・ジュース・フライドポテト・ポップコーン・ゲーム・工作の9種類の模擬店を出店しました。各模擬店では調理職員・ケアワーカー・児童が一致団結して販売を行い、来園されたお客様により美味しい食べ物を提供しようと毎年様々な工夫をしています。その中で来園された方からの「美味しかった。」というお言葉が非常に嬉しく、いつも「今年も地域交流会で地域の方に喜んで貰えてよかったね。」という事を児童・職員共に話しています。今年度は天候も晴天であった事もあり、地域の方々をはじめ、学校の先生方や児童のお友達、学園の卒園生も沢山来園し、非常に賑わった1日となりました。

今後も地域の方に少しでも楽しんで頂ける様、色々な企画を計画していきたいと思っておりますので、お時間がある際には是非立ち寄って頂ければと思います。



かけがえのない一瞬を共にする

ボランティア 小宅初美

8年前、縁あって今井城学園の非常勤職員として採用され、主に中学生に勉強を教えてきました。この春からはボランティアとして月2回ほど訪問し、幼児さんの遊び相手、行事等のお手伝いをさせていただいています。

そんな私がボランティアとして心がけていることは、子どもたちにとって職員とはちょっと違う存在になることです。幼児さんにとっては一緒に遊び気軽に抱っこしてくれる「親戚のおばちゃん」、小・中学生にとっては自分の成長を見守り、親しげに話しかけてくる「近所のおばさん」のような存在です。

施設にいる子どもたちは、いわゆる普通の家庭に育つ子どもたちと違い常に他人に囲まれて生活しています。集団生活なので守るべきルールも多く、思春期を迎えた子どもたちにとってはそれが大きなストレスともなります。職員の皆さんが子どもたちに寄り添い、さまざまな支援をしていますが、緊張を強いられ孤独を感じる生活であることは事実です。そんな中に職員でもない学校の先生でもない「おばちゃん」がまぎれ込み、「この間のテストどうだった?」とか「クリスマス会のときのダンス上手だったねえ!」とか中高生に話しかけ、自分の孫と手をつなぐように幼児さんと茶畑の中を散歩する。私にとって子どもたちがこれから歩む長い人生のほんの一瞬だけかけがえのない時間を共有できる喜びは、何者にもかえがたいものです。

家庭不和、貧困、病気、虐待さまざまな原因で自ら育てられない保護者に代わり、子どもたちを安心・安全な環境で健やかに成長させるのが今井城学園のような児童養護施設の役割です。さまざまな困難を乗り越え最後は笑顔で卒園していく子どもたちと、それを支える献身的な職員の皆さんに対し、世の中の多くの方に感心を持っていただければと願ってやみません。

職員リレーコラム (.) 職員自己紹介 その12

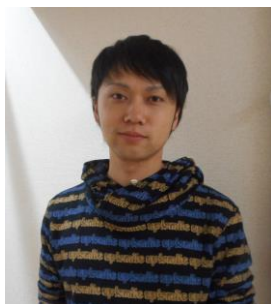
はじめまして。本園2階で働いています、今年度4年目の藤原祥平と申します。

今年度、2階は幼児が多く、大変な事も多ですが、日々子ども達の成長を感じながら一緒に生活しています。子どもひとりひとり個性的な子達が多い為、色々な事もありますが、毎日楽しく過ごせる様意識しながら関わっています。

子ども達と他愛のない会話をしたり、一緒に何かを考えるのが好きなので、12月に行われた学園のクリスマス会では、子ども達と楽しく出し物の内容を考える事が出来ました。

来年度から5年目になり、後輩も増えてきているので、自分が先輩から教わった事を伝え、子ども達と一緒に日々成長していける様な職員になりたいと思います。

個人的に虎が大好きなので、これからも大好きな虎と共に子ども達の支援を頑張っていこうと思います。



こんにちは。本園の3階で働いている河連友海と申します。新卒で入社して3年目になりました。

今井城学園には2歳から高校3年生まで広い年齢幅の子どもが生活しています。学校の登校時間はそれぞれ異なりますが、基本的に決まった時間にホール毎に全員一緒に朝食を摂りますが、本園は人数が多い分普段から喧嘩が多いですが、そういった団欒の時間は大抵笑い声が響きます。ついついお喋りに夢中になって食事が遅くなってしまいう子がいる事もありますが、お互いの顔を見ながら座って全員で会話が出来る場を私はとても温かくて素敵な時間だと感じています。

子ども達の笑顔や笑い声を大切にしていける職員でありたいと思います。

これからも温かい目で見守って頂きます様、今後ともよろしくお願い致します。



ほっと・ファミリー

ファミリー・ソーシャル・ワーカー 吉澤恵子

連載12回目。年度末に向かい卒園生の進路の動きが活発になり始めました。18歳になり高校を卒業すると、学園の子ども達はいよいよ学園を巣立って行かなくてはなりません。大学や専門学校に進学をして一人暮らしをする子。就職をして一人でアパートを借りて自立をする子。就職をしても社会で一人生活をする事がまだ厳しい子は、自立援助ホームと言う施設で職員のサポートを受けながら社会に必要な知識を学びお金を貯めて自立を目指して生活する子。障害を持った子は、入所更正施設・ケアホーム・通勤寮・知的障害者グループホーム・精神障害者グループホームなど、それぞれの子どもの特性に合わせた生活の場に繋がって、そこから職場や作業所などに通います。皆それぞれの適性に合った進路に進むのですが、その時に一番の力になる事が、身の周りの事を自分でするスキル「身辺自立」、自立して生活する為のスキル「生活の自立」、数字や図形を用いて生活に必要な情報を導き出すスキル「数理的処理力」、知識や経験を活かして壁を乗り越え様とするスキル「問題解決思考力」、表現したい事を自分なりの方法で表現するスキル「発信・表現力」、自分の意見と相手の意見のバランスを尊重しながら率直に対等に思っている事を伝えるスキル「自己主張力」、自分の感情や欲求と上手く付き合うスキル「セルフコントロール力」、自分らしく集団参加するスキル「集団参加力」、外部から得られる情報を受け取り理解するスキル「受信・読み取り力」、他者の立場や自由を承認して意思疎通するスキル「他者理解力」が必要となります。

今井城学園職員は、子ども達ひとりひとりの特性に合わせて、日々の生活の中でこれらの力が育まれる様に支援を行っております。これらの力は、幼少期の母親との関わりであったり、家族との日々の関わりの中から培われるものである為、家族で大切に大切にそれらの力を育む事の大切さを強く伝えたいと思います。「家族の養育力の大切さ」を、再認識して頂きたいと強く願います。

こころの窓



心理士 長嶋 彩

ストレス社会と言われている現代。大人は社会の荒波に揉まれ、子どもはちょっとした友人の一言にヤキモキしたりなど、各世代様々なストレスを抱えながら生活をしています。人はストレスがかかると心拍数や血圧が上昇したり、汗をかいたり、呼吸が浅くなったりと、身体の様々な部分に影響を及ぼします。よく「病は気から」と言いますよね。症状は人それぞれですが、心の健康状態は身体の状態に影響を及ぼします。身体が疲れたら休息が必要であることと同じように、心も疲れたら休息が必要です。そこで今回は手軽に出来るリラクゼーション法の一つをご紹介します。

呼吸法：“腹式呼吸”を使ったリラクゼーション法。効果としては、自律神経を正常に整える・副交感神経が優位になることで、リラックス状態になる・免疫力の向上など。

やり方

- ①自分が心地よい体勢をつくります。座る・寝る・立つ、どれでも構いません。
- ②自分の身体に注意を向け、今の身体の状態を把握してみてください。目を瞑ってみると注意が向けやすくなります。
- ③腹式呼吸でゆっくり深呼吸をします。下腹部を意識しながら鼻で息を吸い、口でゆっくりと吐きます。割合としては「吸う：吐く＝1：2」。
*無理のない範囲でゆっくり息を吐くことがポイント！
- ④5分程度深呼吸を繰り返します。
- ⑤再度身体の状態に注意を向け、リラックスした状態を味わってください。

いかがでしたか？心理面接では、話を聴くこと以外にも、必要に応じて上記のような身体へのアプローチも行います。今後も時折この場を借りて、様々なリラクゼーション法をご紹介します。



レッツ・クッキング

栄養士 原口康子

年末の大掃除や年始の疲れが出てきていませんか？体が弱っていると風邪をひいてしまう可能性大。そんな時にお勧めなのは「ニラ」♪ニラは香りが強いから・・・と敬遠してしまう方も多いのでは？独特な香りは硫化アリルという臭いの成分。この成分はビタミンB1（エネルギーを作る働き、神経機能や脳を正常に保つ働き）の吸収を高めてくれるんです！また、玉ねぎにも含まれている栄養成分で、血液をサラサラにして血栓を防ぐ効果も期待できるんです！βカロテン（ビタミンA）も多く含まれていて、皮膚や粘膜を正常に保ち、細菌から体を守り、免疫力を高める効果も！油と一緒にとると吸収率UP！ニラと言えば、“ニラレバ”？“レバニラ”？が代表的ですが、今回は「ニラ玉丼」！丼物をご紹介しますと思います。

【材料】4人分

米 2~3合 酒 大1強
卵 3個 水 120ml
油 適量 砂糖 大1/2強
豚挽肉 140g オイスター 小1強
ニラ 1束 醤油 大1+小2
人参 1/3本
生姜 小匙1/2
油 適量

【作り方】

- ①ニラ 3cm 幅カット。人参粗みじん。生姜汁。卵は炒り卵。
 - ②フライパンに油を引き、豚挽肉を炒める。お肉に火が通ってきたら人参を入れ、人参に火を通す。
 - ③②に生姜汁と水、調味料を入れて煮立たせニラ、炒り卵を加え2分ほど炒め煮にする。
 - ④ニラに軽く火が通ったところでご飯の上へ！
- ※ニラは栄養成分が逃げないように水洗いと加熱を短時間でやる事が大切。



忍耐と希望

学習指導員 藤野哲夫

学ぶことには忍耐が必要です。新しい知識や技法はすらすらと身につくとは限らず、むしろつまづくことの方が多いたとも言えます。そして、つまずいても更に学び続けようとするのは難しいことです。癩癩を起し、学習が成立しなくなる子もいます。できない自分に腹が立ったり、絶望してしまうのでしょうか。

忍耐はまず教える側に必要です。子どもの考え方や感じ方は一人ひとり異なります。その子を理解するように努め、その子のペースに合わせて、学びを進めていかなければなりません。

忍耐は教わる側にも求められます。しかし、子どもに忍耐を強要することは不可能です。子どもを大人の都合のよいようにコントロールすることは本来不可能であり、また試みるべきではありません。

では子どもの忍耐はどこから生まれるのでしょうか。様々なことが考えられますが、その一つは、子どもが教えてくれる人が信頼できる人であると思えることではないでしょうか。言い換えると、この人に教わるときっと良いことが待っていると希望を持てるということです。

教える側にも歯がゆいほどできないことがたくさんあり、自信を持てるほどの人間性もありません。子どもにつまづきに対処できないときが度々あります。しかし、子どもにつまづきの中に積極的な意味を見出し、この子が分かってくれるようにと全力を尽くして工夫を重ねることが大切です。教える人も、希望に生きる人でなければなりません。

編集後記 おかげさまで「今井城学園通信」第12号を発行することができました。この通信を通じて、今井城学園を地域の皆様に広く知っていただき、職員の持つ専門知識が皆様の生活に少しでもお役に立てればと願っています。記事の内容に関して、ご質問、ご要望等がございましたら、下記の連絡先まで遠慮なくご連絡ください。（編集委員）

今井城学園

電話：0428-31-2277

eメール：info@imajyo.or.jp

ホームページ：http://www.imajyo.or.jp

